

[赤嶺奈津江議員 登壇]

○6番 赤嶺奈津江君 一般質問2日目、ラストになっています。人の命に係わるAED等を取り上げていますので、前向きな答弁をよろしくお願いいたします。全部読み上げて、再質問から一問一答でいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

質問1. 各自治会のAED配置(設置)状況を問う(1)以前、町より各自治会へAEDの設置を行ったが、現在の状況はどうなっているか。(2)避難場所として多くの公民館、コミュニティセンターが指定されている。町としてAED設置及び消耗品等も全て町負担とすべきだと思うがどうか。

2. 自治会との事務委託料の増額等、検証や見直しについて(1)自治会加入率に悩む自治会も多く、運営も厳しくなっている自治会もある。事務委託料等の増額等検討見直しをしてはどうか。

3. 町立幼小中学校のクーラー設置への課題は何か(1)以前から町立幼小中学校のクーラー設置について質問している。現況と課題になっている点は何か伺う。(2)授業中や帰宅後、熱中症の症状を訴える子が出ていると聞いた。町として把握しているか。(3)予防対策及び連絡体制などは整っているか。以上、3点よろしくお願いいたします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1つ目の各自治会のAED配置(設置)状況を問う(1)についてお答えします。平成21年度に町が各字・自治会に設置したAEDは、現在与那覇、宮城、大名、宮平、兼城、喜屋武、津嘉山及び兼本ハイツの8自治会で継続設置をしております。また、役場庁舎、ちむぐる館、町内の幼稚園、小中学校、陸上競技場、中央公民館、文化センター、児童館、保育園へ設置済です。(2)についてです。各字・自治会公民館等へのAED設置の在り方や消耗品購入への補助について、その他の助成事業や財政事情も含め今後検討してまいります。

質問事項2つ目の自治会との事務委託料の増額等、検証や見直しについてお答えします。事務委託料は、各自治会基本額、均等額に、各自治会の世帯数に140円を乗じて算出しております。現在の委託業務の内容を踏まえ、委託料は妥当だと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 赤嶺奈津江議員の質問事項3. 町立幼小中学校のクーラー設置に関するご質問にお答えします。(1)でございますが、小中学校の特別教室、幼稚園4歳児クラスなどに空調機を設置しております。空調機の整備につきましては、財源確保が大きな課題となっております。(2)でございますが、学校からの報告がございまして、そ

れによって把握をいたしております。(3)でございますが、予防対策としまして空調設備の整備が喫緊の課題となりますので、早期に解決できるように要望をしております。緊急時につきましては、養護教諭及び担任等が早急に判断して医療機関へ搬送することなどを学校へ指導しております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん それでは、1問目から再質問をさせていただきます。21年度に各字・自治会に設置したAEDが現在は8自治会ということで、今挙げていただいた字はどちらかと言いますと大きいと言いますかある程度自治会員数も確保されているような自治会かというイメージがあるのですが、現在8自治会。それ以外の自治会は、現在どのような状況になっているのか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 その他の自治会につきましては、役場に返還して役場が保管している状況になっています。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん 返還された理由は何でしょうか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 それぞれの自治会で違うのですけれども、役員会等で協議した結果不要だとか、それはおそらく一等最初は使うのが怖いとか、バッテリーとかパッドそれぞれの耐用年数がありますのでその費用がかかるとか、地域独自の理由によるものだと思いますが、それは地域の役員会等で決定されて返還となっております。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。各自治会の役員会等で話し合われた結果ということでもありますけれども、実際は町が避難場所と指定している場所がほとんどだと思いますので、本来であれば避難される方々のことを思えばAED設置は町がやってもいいのではないかと思います。使用期限は5年だと聞いていますが、その使用期限が切れたことでもうできないということだと思いますが、町としてはそういう認識でいるかどうか

か。ただ要らないから還すとしたのか、維持費がかかるから還すと自治会は思っているのかと私は思うのですがいかがですか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 先ほどは様々な理由からと言いましたが、おそらくは維持費が課題かと考えています。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。南風原町は高速のインターが3カ所あって、海にも面していないということもありますので、必ずしも南風原町民だけが避難するのではなく、近くに避難場所として指示があれば各自治会などへ避難することがあるかと思うのですが、その中での避難、慣れない所での避難、区民であったり町外の方であったり、県外・国外の方が来る可能性だってあるわけですから、そのストレスのある中では心筋梗塞など起こすことは絶対にはないとは言えないと思うのです。AEDというのはある意味、保険だと思うのです。保険は何か有事の時のためのものだと思うのですが、それと同じようにAEDも捉えて、維持費はかかってもやはり置いておくべきではないか。一人の命は、お金に換算できないものでもありますし、ぜひこれは町が負担すべきではないかと私は思います。(2)とも係わりますが、現在この8自治会、また町の公共施設と言われる所に設置されていますけれども、たぶん私が質問するかしないかぐらいのときに使用期限が切れていないかチェックされたかと思いますが、今年に入って使用期限が切れたままだったAEDがあったかどうか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 パッドとバッテリーはそれぞれ使用期限が異なっていて、パッドが3年、バッテリーがもう少し長くて4年ですので、25年のバッテリー交換をしたものがそろそろ切れている状態になっているというのは事実でございます。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今回、実際に使用する事案がありまして、本当にどこで使用するかわからない。それを早く使用することで人の命が助かるという、皆さんもよくしみて感じていることだと思いますけれども、そういった中、やはり各自治会への設置の在り方を前向きに考えるべきではないかと思えます。維持費がかかると

ということでは、自治会だけではなくて町としても不安材料はあり、使用がないに越したことはないけれども使用があると予算計上もかなり嵩んで来るかも知れません。有事の際にはかなりの数を使うかも知れません。そういったときのために、いろんな施策としてもこのAEDの確保は検討するものだと思いますけれども、リースだったり広告付きのAEDの設置だったり県外等でもやられている所がありますがそこまで研究がされているかどうか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 これは議員からも情報提供などいただいて、自分なりにと言いますか担当も今言ったリースですね、リースであれば月々5,000円から6,000円の間であるとか、あとは飲み物の自販機を設置していただければこのAEDは無償でという、自販機に関連した警備保障会社等がやっているものなどいろいろあるようで 設置できる方法もあるようです。ただ、これは非常に辺鄙な所であったらできないという表現はあったのですが、町内であれば先ほど言った月額リースが5,000円だとすればそれに近い売上等々があればそれは経費がなくてもできるということがございますので、それは町行政も含めて、地域の皆さんへ相談をするか、あるいは先ほど副町長からありましたように様々な助成事業、当然AEDの必要性は重々分かっているのですけれどもこれとまた助成の在り方、消耗品への助成がないものですからそれも含めて、それはまた協働のまちづくりであることをご理解いただきながら、良い方法をこれから勉強させていただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん 答弁ありがとうございます。やはりAED、安心して活動するということでは、自治会の公民館等は高齢者の憩いの場になっていたり交流の場になっていたり、しかし今は若い人でも心筋梗塞で倒れられたりということがあって、AEDがあることで助かる方は多くなってきています。そういった中、自治会にあることが分かっていたら、地域住民の方がすぐ取りに行くことも可能ですが、今の状況ではそれが無い、すぐに病院へ行かなければ助からない、命も助からないという可能性も出てくるわけですね。調査研究することも大事ですけれども、早急に対応することも検討はしなければいけないと思います。今、災害が無いからなんでも無いも知れませんが、1分後、5分後、10分後、自然災害なのですから何があるか分からない。特に夏場は観光客も多いですし、そういったところで自治会等への避難があったとき、AEDも何の施設もなく助かる命も助からなかったということにならないよう早急に対応はしてもらいたいと思います。また、各自治会、8自治会は自己の負担をもってやっているわけですが、そういったところへの助成のやり方とかいうことも調査研究してやっていただきたいと思います。

私が調べたところでは、広告付きのAED、それもスタンド型のAEDだと一部分に広告を使って、1カ月だとか短期間の広告収入も得ながらの設置もあるようです。そういう方法もあるので、いろんな施策と言いますか方法を模索しながらやっていただきたい。自分たちの目の前にあるものだけが正しい情報ではなく、新しい情報がどんどん入ってきますので、アンテナを常に張っていただいて、研究していただきたいと思います。答弁では助成事業とか財政事情も含め検討しますということですが、ぜひ前向きに検討しますということで答弁をいただきたいのですが、いかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 いろいろご提案もありがとうございます。町が直接歳出として予算を組むのか、それともまた今おっしゃったようないろいろ業者から情報を引き出しながら、これを紹介して地域の皆さんに理解を得ながら設置を促すと言いますかそういった方法も全て含めて検討させていただきます。ありがとうございます。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。次、問2つ目でもあるのですが、自治会加入率が減ってきている中、自治会負担でこの予算を持つというのはかなり厳しいと思います。ですから、特に今、南風原町は都市型になってきていると思うのですね。アパートが多くなって、マンションが多くなって、隣近所が分からないという所もかなり多くなってきていますし、今まで旧字の中でも反対にアパートが建たないということで新しい自治会員が入らない、住民が増えない、そういった中で高齢化がすすんで来ると免除年齢がある所もありますので収入が減ってくる。そうするとまた区長のなり手がなく、自治会長のなり手がなくという負の連鎖になり兼ねないのですね。ですから、予算を町が字に求めると、自治会に求める。実際、自治会の公民館、コミュニティを運営するだけでもある程度の予算は使うわけです。そういう予算が厳しい中ではAEDとかそういった確実にお金が出ていくであろうというものには、簡単にいいよとは言えない自治会が多いと思います。小さな地域になるとかなりの負担率になると思いますので、せつかく避難所として指定して県内でも数少ない津波の可能性が少なく避難されてくる方が多いであろう南風原町ですし、ある意味、安全な町と思われるような環境づくりは大事だと思いますのでぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

問2です。実際に事務委託料は基本均等額に世帯数140円ということですが、この金額の設定はいつごろ決まったものなのか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 調べた結果、平成12年までは遡れたのですが、それ以前からこの設定ではなかろうかと思っています。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。平成12年ということは、少なくとも17年間変更がないということです。この中で人件費等を考えるとかなり今は時給からしても上がっていると思われますけれども、これまで全然検討がされなかったのか、これが妥当だと答弁はもらっていますけれども検討されてこなかったのか自治会から求められなかったのか。どういう状況でしょうか。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 実際のところこれをお願いしますということで、区長会の正式な議題に上ったかは確認していないのですが非公式の場ですと言いますか、もう少し委託料を上げてはということもあったということでございます。予算額としては平成20年が3,629万円、現在は4,200万円。当然これは世帯数の増がございます。それぞれの自治会が、当然なのですが加入者は少なくなっても、自治会費を納めているかいないかは別にして、行政サービス、われわれが委託するのはお願いしますよという考え方でやっていることはご理解いただきたいと思います。ただ、他の市町村がどうかといったとき、自治会の数などが違いまして、一概に額が多い少ないでは何と言いますか委託料が高いとか安いと比較できないものですから、そのへんはご理解いただきたいと思います。今21という事務委託内容になっています。これは以前からでございます、われわれが若いころは毎日か毎週か、各字に文書を持って行って、農業委員の何々さんをお願いしますという今だったら80円の切手を貼って出していたのを全て自治会長さんをお願いしていたとか、給食費の徴収もお願いしていたとか、非常にいろいろな業務をお願いしておりました。今はそのへんは当然、公金を字が取り扱うこともあり得ないことでありまして、それからまた行政防災無線も完備して直接町からといったちょっとした日々の業務の負担は軽減できているのかと思います。これを主に自治会の自治的な活動に割り当てただけであればありがたいと思っているのですが、厳しい予算の中、これはやはり今後の課題だとは常々思っております。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。おっしゃったように昔、公民館で税金の放送をしていたような記憶もありますし、いろいろ事務はあったと思います。今現在、

区長のなり手とか、自治会長のなり手がだんだん少なくなってきたり、また65歳からしか年金がなく、自分たちの時代からは70歳からとなると働く期間が長くなったりということで地域での活動がし難くなってきている部分もあるのかと思います。そんな中、自治会長をお願いするときに、今まではボランティアでやっても年金も減額だったりとか、やはり簡単にはお願いできないという部分もありますし、自治会も運営しなければいけないというところでは委託料も今後は検討していただかなければいけないと思います。自治会にはある程度見守りの役割も大きいですね。私たちでも食堂をやっているなかでは自治会長が積極的にいろんな事業を入れてくれるので関わり合いはできていますけれども、そういったものができないとなってくると地域の人が分からない、子どもたちも分からないという環境になり兼ねません。ぜひそういったところも含めて今後の委託料等検討していただきたいと思います。問2は終わります。

問3. クーラーです。たぶんもう身構えていらっしゃると思うのですが、クーラーについては前から言っておりますけれども、実際に熱中症が出たということで、課題は財源確保であるということです。今の財政状況も分かりますし、かなり厳しい状況ということで事業をカットということもありましたので理解はしているのですが、やはり町長がおっしゃるように教育は待たないところなんです。熱中症で具合が悪くても、中学生はテスト前にこれを抜けると心配だから言わないでお家に帰って救急に行くという子も中にはいるのです。そういった負担を考えると、やはり早めに対応しなければいけないと思います。(2)で、熱中症の症状を訴える子について町は把握しているということですが、午前中の宮城寛淳議員の質問で115名と連絡が来ているということでした。これは学校から直接だけなのか、自宅に帰って救急に行ったとかいう報告も含まれているのかです。学校でもそのまま保健室対応だったということで把握しているのか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 115名については、学校で把握した数字の報告となっております。また、個別で、学校で事故等がありましたら、緊急連絡第一報ということで、学校から教育委員会に全て来ることになっています。大きなものについてはそういったことで学校との連携は取っている状況であります。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。熱中症で来た場合には、保健室対応だけなのか。救急に搬送された子もいるかどうか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 報告の中では救急車で搬送もあったということでありました。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。やはりそれだけ今年暑いということでもありますけれども、午前中の寛淳議員の質問の中でも34℃ということでありました。私も学校に行くたびに、今日の室温は何度でしたかと聞くようにしています。子どもたちにも、分かる子たちには今日はどうだったかと話を聞きます。すると、体育のあとは大変だったとか、気分が悪かったとか、保健室に行かないまでも頭が痛かったとかそういう子もいっぱいいます。ですから、これは早く対応しなければいけない。前に私が質問した際に、33℃を超えた時点で扇風機を使うとドライヤーと同じ効果であると言いました。これはもう文部科学省、厚生労働省からも出ています。その中で勉強するのは過酷な状況だと思います。今、質問するのは子どもたちに対しての環境づくりということもありますけれども、大人の先生方もかなりきつい。階段の上り下りをつけながら、この暑い環境の中で授業をするのはかなりきつい状況だと聞いています。ぜひ早めの対応をしていただきたい。できたら明日、明後日にでも入れて欲しいぐらいなのです。子どもたちからしてみれば。特に9月は運動会の練習ということで、体に熱を持ったまま教室に移動してということで、本当に気分が悪くなる。実際、委員会中でも救急車の音が聞こえたりすると、もしかして運動会練習中での熱中症なのかなと心配になるのですね。やはり子どもたちの環境を整えなければいけない、これは行政を預かる側としては大きな課題だと思いますので、早期の対応をお願いしたいと思います。

次、(3)です。予防対策としては、空調設備の設置が喫緊の課題となりますとありますが、現在、全くそれ以外の対応策がないのか。たぶん中学校には製氷機も置いていますよね。そういったものも活用して、学校にどうにか子どもたちの体温を下げるとかというような対応もしてもらわなければいけないと思いますが、そういうやり取りは学校とやっていますでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 現在の対応策としては、まずクーラーを設置している特別教室が空いているときには活用ということと、あとは水分のこまめな摂取を呼びかけています。また、冷水器、製氷機の活用などとして、できることは対応しているということでありませう。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。できることは対応しているとのことですが、中学生の男子は長ズボンですね。女子はスカートですが中から体育着を着ているということもあるものですから、本当に体感温度はかなり高い環境で勉強をしています。小学生も体育もありますし移動もあると結構暑い状況ではないかと思っておりますので、水分補給とかそういったところで学校側から子どもたちへの配慮という点。保護者からは授業を受けて、男の子ががまんできなくてズボンの裾をまくったら生徒指導だったと、そういったこともあるわけです。身なりというのは大事ですが、がまんできない状況は私たち大人が作ってしまっているのです、子どもたちにあまり負担をかけないということでも水分補給だけでなく製氷機、また製氷機は中学校だけで小学校には置いていないと思っております。そういった環境の整え方は十分注意していただきたいと思っておりますけれども、この点に関しては、緊急体制での連絡網はできているとのことではありますけれども、熱中症に関してどういうふうにして欲しいとかいう要望だったり、こちらから要望したりというのはやっていますでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 特に今年は7月、8月、9月と梅雨明けからかなり急激に温度が上がりましたので、指導主事からも各学校へ熱中症対策ということでいろいろ指導していています。また、学校においては学校経営計画の中で安全対策ということで、こういった場合はこういったものということで消防、救急、警察、教育委員会への連絡事項、職員の連絡体制等記載しておりますので、その徹底を図っているところであります。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。連絡網をしっかりしているということでもありますし、子どもたちの環境を整えることは大事なことでありますけれども、実際病院に運ばれたり具合が悪くなって欠課だったり休みだったりということがすることは、彼、彼女たちの学びの場を逸してしまう、それを作ってしまっているということですので、ぜひその点の改善に向けて早めの対応をお願いしたいと思います。

医療機関への搬送ということでは、先ほどあったということでしたが、何件ということでは報告が上がっているのかどうか教えていただきたい。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 115件中何件ということで細かい数字はありません。ただ、そういうことがあったということで聞いています。教育委員会としては、熱中症だけではなく、例えば頭を打ったとかそういうことがあったら遠慮せず救急に連絡して病院へつなげることを最優先にして欲しいということで常に指導しているところであります。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん 熱中症だけの救急搬送の統計は取っていないということですが、熱中症はその一日だけで治るものではないそうです。体調が完全に回復するまでには1カ月、2カ月かかる場合もあるそうです。明日、明後日にクーラーを設置できない状況であることは理解するところもありますので、そこでいかに子どもたちに体調を整える状況を作ってあげるかも大きな課題だと思います。ですから、水分の補給状況や学校の配慮の仕方というのはぜひ研究していただきたいと思います。クーラーについては、午前中に31年度という話もありましたけれども、目途が付けば次年度から、1つでも2つでもぜひ入れていただきたいと思います。喫緊の課題と挙げておられますので、そういった対応ができるかどうか確認したいと思います。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 空調設備につきましては、今年度6月に南風原小学校、津嘉山小学校の普通教室の不足で設計委託料を計上しています。設計がこのあと上がりまして、3月までに建築費を計上する予定でありますので、その南風原小学校、津嘉山小学校の普通教室についてはその予算の中で空調機を整備していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 6番 赤嶺奈津江議員。

○6番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。午前中の答弁では、オープン教室がネックになってということで町長からも答弁がありましたけれども、今、新しいクーラーではオープンスペースでも使えるようなものも出てきておりますので、ぜひ調査研究していただいて、後々の財政負担にならないような施策を取っていただいて、子どもたちの環境を整えていただきたいとお願いして質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。